

## 平成20年度理事会（総会）議事録

日時：平成20年1月20日（日）10時～15時30分

場所：東海軒会館

出席者：66名

会長挨拶

19年度は天皇杯皇后杯が浜松であり、その運営が立派にできた。20年度も全日本レディース、アジアシニアがあり、運営にご協力をお願いします。19年度は国体では少年男子が7位、一般男子3回戦、全日本社会人では成年男子岡部選手が優勝、全日本シニアでは男子45歳以上で村上選手が2位、女子60歳以上蒔田・長谷川ペアが3位、ミックスでは石川・市川ペアが優勝、大角・金谷ペアが3位、ねりんピックでは静岡市が3位になり、よく活躍した年であった。

### 1. 19年度事業報告（落合理事長）

#### (1) 競技力向上について

- ・ Step-1, Step-2の事業の確立ができた。
- ・ 東部、中部、西部に連絡協議会を立ち上げた。競技者育成プログラムStep-1-2の事業費の補助として、各地区にそれぞれ10万円を配賦した。
- ・ 中学選手権大会は男女それぞれ114ペアを128ペアに増やし、男子を富士宮、女子を沼津で実施した。
- ・ 指導者育成事業として、スポーツ指導員養成講習会を実施し、39名が資格を取得した。コーチ資格は、18年度に菅井、菊池、齋藤の3名が資格を取得し、19年度は、野田、鈴木の2名が受講している。今後コーチを主体として、競技者育成プログラムを充実させていきたい。
- ・ レディース強化報告(市川雅子副理事長)  
19年6月レディース委員会開催、11月6日東部講習会32名で実施、11月20日西部講習会56名で実施、中部はスポーツフェスティバルと合わせて72名の参加で実施した。  
中央講習会を2月11日に実施する。
- ・ 国体強化では合宿、県外遠征を実施した。  
少年男子は東海2位、全国7位、一般男子は3年連続ベスト16になった。東海の予選が厳しくなっているが、全国大会に出場し16本の壁を破りたい。

#### (2) 会員登録制度の徹底

- ・ 会員登録の徹底のため、県大会と同様に各地区の大会も試合申込は会員登録を参加の条件にしたい。

#### (3) 天皇杯・皇后杯全日本選手権大会について(鷺頭副理事長)

- ・ 西部を中心に大会運営をしてもらいました。参加数が540ペアから341ペアに絞り、花

川20面で実施でき、またレベルの高い大会となった。

- ・初日は雨が降ったが予定どおり実施することができた。
- ・NHKの放映があり、砂を7割も取るため苦労したが、多く方の協力により成功した。
- ・NHKより10枚DVDをいただいたので配布した。（県連事務局で貸し出す）
- ・資料により会計報告を実施。浜松市よりの補助金2,000,000円と役員の方々の協賛金があったから実施できた。剰余金は県連と浜松他、掛川など西部の協会に配分した。

(4)19年度大会結果報告

- ・総会資料に基づいて報告

(5)19年度会議経過報告

- ・総会資料に基づいて報告

(6)19年度表彰者

- ・総会資料に基づいて報告

(7)会員登録について

- ・総会資料に基づいて報告

2. 19年度収支決算報告(鈴木事務局長)

- ・総会資料に基づき説明（修正箇所があり、別紙収支決算報告書による）

3. 19年度収支決算監査報告(榛葉監事)

- ・12月16日落合理事長、鈴木事務局長が同席し、榛葉監事、川西監事で監査実施
- ・19年度秋田国体での補助金支出を増やした。
- ・支出と領収書を月毎に3項目を抽出しチェックした。領収書に番号が付いているため、チェックしやすかった。
- ・分担金は年度初めに納めるように、大会費振り込みも早めに実施するように皆さんの協力をお願いしたい。

4. 19年度その他報告

(1)中学校会員登録（布川理事）

- ・資料に基づき、問題点やお願い事項の説明があった。

(2)高校生委員会報告（足立副理事長）

- ・1月東海選抜室内大会の結果、富士宮北高男子が全国大会へ出場する。
- ・競技者育成プログラムを8月に実施し、Step-3へ各カテゴリーで6名選考した。Step-4に1名選出され、全日本U-14メンバーになった。（選考会で実績が出れば対象になる）
- ・父兄、生徒から感想文を提出してもらった。
- ・問題点：
  - ・周知されていない。
  - ・学校枠を超えてやらなければならない。
  - ・ペアの片方のみ選ぶ場合もある。
  - ・国体強化と連動する必要がある。

(3) 中体連報告（岩田副理事長）

- ・ 県選手権大会参加枠数について毎年会員登録数をもとに参加枠数を決める。
- ・ 湖西中学校女子が廃部になるので、三島、富士宮、焼津の枠を1ずつ増やす。（別紙「協会枠数の変更」資料による）

5. 20年度事業計画案発表（落合理事長）

(1) 日連の「20年度事業計画書」に基づいて説明。

特記事項

- ・ 岳陽中の深沢俊祐選手が全日本U-14に選出された。
- ・ ゼッケンの着用が義務づけられた。
- ・ 技術等級制度を見直し中である。（後日別添の技術等級制度により決定された）
- ・ 国体成年男子の監督は選手と兼ねることになるので、監督費用は県連が負担し派遣するか、今後の検討事項とする。
- ・ 会員登録納付手続きが変わるので、後日説明会を各協会担当者を集めて実施する。

(2) 東海の総会報告

- ・ 19年度東海選手権、シニアの参加数は過去最高だった。
- ・ 東海レディースの参加数は減った。
- ・ 20年度アジアシニア大会に東海から1チーム参加する。
- ・ 組み合わせは4県代表で作成する提案があったが、従来どおり主催県が作成する。組み合わせのルール化を図る。
- ・ ミニ国体を含め東海大会はゼッケン（県名・名字）を着用する。
- ・ 東海シニア大会は男女とも75の種別を増やす。
- ・ 東海小学生大会は審判資格を参加条件とする。個人戦は選手、団体戦は父兄が審判
- ・ 8/26～29の内の2日間でStep3を実施する。

(3) 県連の「20年度事業計画（案）」に基づいて説明。

※事業計画に対する意見・質問

- ・ ジュニアの審判資格の講習会のやり方をどうするか。  
20年度は東海、全国大会の代表になった時点で審判資格を取得させる。  
（参考に高校総体の参加者は6月に実施）  
21年度以降の審判資格取得の方法は常任理事会で検討する。
- ・ 県大会用のゼッケンの作り方は決まっていない。常任理事会で検討する。

6. 20年度収支予算について（鈴木事務局長）

「平成20年度収支予算書」（案）に基づき説明し、一部修正の上、承認された。

収入の部：静岡県体育協会補助を30,000から160,000に変更、計も合わせて変更

支出の部：予備費および計を130,000増額した。（別添の収支予算報告書による）  
（意見）県事務局、国体監督、コーチが時間を費やし苦勞しているため、事務経費の補助のアップを今後検討してください。

出費が多い中、経費・補助の増額は難しいが、常任理事会で検討したい。

#### 7. 20年度大会日程の調整（落合理事長）

「20年度大会・行事予定表」により説明。

- ・国体一次を6/15から6/22、国体二次を6/22から6/29、国体三次を6/29から7/6に変更する案を元に再度調整する。（別添の平成20年度大会・行事予定表 2月1日修正）
- ・アジア大会日本代表選考会と県実業団が重ならないように21年度以降考慮する。
- ・8/9競技者育成プログラムStep-2の日程を再度調整し、変更する。

#### 8. その他報告事項

##### (1) 全日本レディース（市川副理事長）

- ・11月の常任理事会で記念大会になり、費用が多くなる。  
今後協賛金をお願いしたい。
- ・準備委員会で大会要項作成中
- ・女性はほとんど試合に参加しているので、男性の協力をお願いします。

##### (2) アジアシニア選手権大会（岩本副会長）

- ・経緯の説明
- ・富士宮で開催し、日本、東海で1チームずつ出場する。
- ・費用が4百～5百万円掛かるので、協賛金の協力をお願いしたい。

##### (3) 日本スポーツ・マスターズ大会

- ・会場が草薙庭球場に決定した。

##### (4) 県体育協会創立80周年記念功労賞について

- ・ソフトテニス 6名  
東、中、西部で各2名ずつ推薦し、3月の常任理事会で決定したい。

##### (5) 新潟県連と石川県連より地震に対する義援金の礼状が来ている。

##### (6) 県連ホームページに動画を掲載するようになる。

##### (7) 1級審判講習会を瑞浪市で2/16、2級審判講習会を2/3草薙で実施する。

##### (8) 中学生の会員登録還元金は中学生に還元してほしい。

還元金は中体連に還元するものではないが、中学生の強化練習、競技者育成プログラムStep1-2及びStep2の費用等に使用したい。

理事会終了後、19年度の功労者、優良団体、ランキング、優秀選手、優秀団体等の表彰を行った。